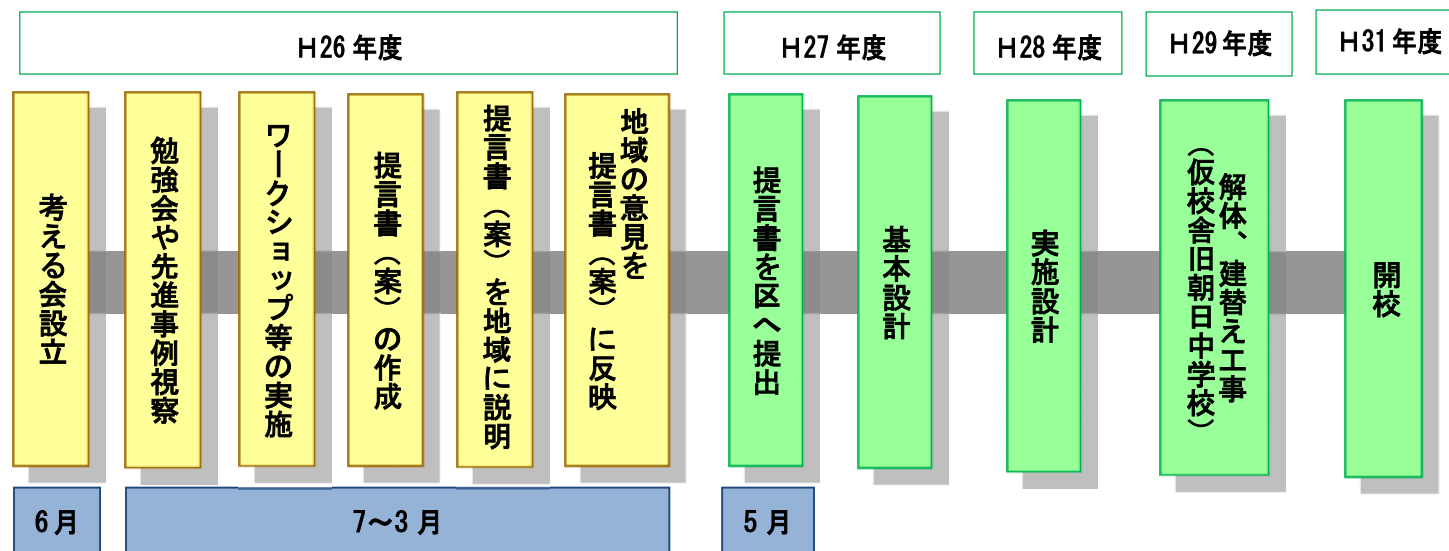


これまでの考える会の活動と建て替えまでのスケジュール

回	開催日	内容	参加人数
第1回	平成26年 6月23日(月)	・会の設立と進め方について ・巣鴨北中学校の現況等について	委員 18名 傍聴 3名
第2回	7月8日(火)	・学校建築について(勉強会) 「東洋大学名誉教授、(株)教育環境研究所理事長 長澤 悟 氏」 ・先進事例視察について ・アンケート調査について	委員 16名 傍聴 1名
視察	7月23日(水)	・先進事例視察 ①北区立赤羽岩淵中学校 ②豊島区立西池袋中学校	委員 13名
アンケート調査	7~9月	・巣鴨北中学校生徒・保護者・教職員 ・周辺小学校(西巣鴨小・豊成小・清和小・朝日小) 児童(5~6年生)、PTA代表者 ・通学区域内の区民	
第3回	9月1日(月)	・先進事例視察報告 ・ワークショップ① - 建て替えへの思いを共有する -	委員 16名
第4回	10月3日(金)	・アンケート結果概要について ・ワークショップ② - 計画の方針づくり1 -	委員 13名 傍聴 1名
第5回	11月5日(水)	・ワークショップ③ - 計画の方針づくり2 -	委員 12名 傍聴 1名
第6回	12月9日(火)	・ワークショップ④ - 施設計画の方針づくり -	委員 11名
第7回	平成27年 1月29日(木)	・ワークショップ⑤ - 整備計画案の作成・まとめ -	委員 8名 傍聴 1名
第8回	2月23日(月)	・提言書(案)の作成・まとめ	委員 12名 傍聴 1名
地域説明会	3月18日(水)	・提言書(案)の内容について、地域の皆様に説明 ・質疑応答	来場者 13名 委員 12名
第9回	4月3日(金)	・地域説明会の報告について ・区長提言について	委員 11名

巣鴨北中学校建て替えまでのスケジュール(予定)



「巣鴨北中学校の建て替え等を考える会」に関するお問い合わせは・・・
 豊島区教育委員会事務局 教育部 学校施設課 までご連絡ください。
 電話：3981-1143 / ファックス：3981-1416 / メール：A0029257@city.toshima.lg.jp
 (ホームページ ⇒ <http://www.city.toshima.lg.jp/kodomo/kyouiku/8381/033144.html>)

巣鴨北中学校の建て替え等を考える会 ニュース NO.4

編集・発行：巣鴨北中学校の建て替え等を考える会
2015. 4

「巣鴨北中学校建て替えに関する提言書(案)」 地域説明会を実施しました!

「巣鴨北中学校の建て替え等を考える会」は、平成26年6月に会が設立されてからこれまでに計9回の会合を重ねています。そのほかにも、先進事例視察や周辺小学校、地域の皆様に向けて「巣鴨北中学校建て替えに関するアンケート」(ニュースNO.3で紹介)を実施し、それらを踏まえて、このたび、「巣鴨北中学校建て替えに関する提言書(案)」をまとめました。

3月18日(水)には地域説明会を開催し、これまでの考える会の活動経緯や、提言書(案)の内容を地域の皆様に報告しています。

今回は、提言書(案)の内容紹介とともに、その様子をお知らせいたします。



地域説明会の様子

地域説明会で出された主なご意見

説明会当日は13名の方が来場し、熱心に提言書(案)の内容を聴いてくださいました。主な意見交換の内容は以下のとおりです。

<質疑応答>

質問：仮校舎(旧朝日中学校)に移っても校庭は使えますか。

回答：仮校舎は旧朝日中学校を活用し、校庭も使用可能です。(豊島区からの回答)

<今後の進め方について>

意見：提言書を区長へ提出した後、基本・実施設計、工事と進む予定ですが、その都度、説明会等を開催し、地域からの意見や要望を聞きながら取り組むたいと考えています。

(考える会からの意見)



地域説明会の様子(意見交換)

建替えコンセプト

笑顔が溢れる「学びの場」 地域とつながる「巣鴨北中」

基本方針（こんな風につくりたい！）

1. 「学びの場」を第一とした学校

① 時代に対応した学習環境

- ・ 日当たりのよい教室、リフレッシュ・交流の場としての空間づくりを行う。
- ・ 生徒たちが快適に学習でき、教職員の職場環境としても過ごしやすい環境を整備する。
- ・ 多様な学習内容・形態、ICT 環境に柔軟に対応できる情報環境設備を整備する。

② 授業や部活動が伸び伸びとできる校庭

- ・ 体育の授業や部活動が伸び伸びとできるよう、運動がしやすい形状や機能を備えた「学びの場」として校庭を整備する。

③ 自然を身近に感じる環境教育の場

- ・ 環境負荷の低減や自然との共生に配慮した学校施設として整備した上で、生徒たちの環境教育の場としての機能を果たす。
- ・ 敷地内の緑化の推進、自然の風を感じる仕組み、太陽光パネルなど、自然エネルギーを活用した設備を整備する。

2. 巣鴨北中らしさを活かした学校

① 学校のシンボル、笑顔行き交う「れんが通り」

- ・ れんが通りは、巣鴨北中のシンボルとして、地域開放、防災利用の視点に配慮し、最も効果的な場所に整備する。
- ・ 歩きやすさ、材質、バリアフリーの視点にも配慮する。

② にぎわいを生み、交流の場となる広い校庭

- ・ 今後も地域開放等が継続して行える、広く、安全性にも配慮した校庭を整備する。

③ 四季の移り変わりと彩り、伝統を感じる学校

- ・ れんが通りの両脇花壇、芝生広場、豊島区発祥のソメイヨシノなど、四季や豊島区の伝統を肌で感じることができるよう、自然環境を整備する。

3. 地域とつながる学校

① 地域のまちづくりに貢献する地域開放施設

- ・ 校庭や体育館などのスポーツ施設開放の他、町会・商店街等の活動、地域のまちづくり活動にも貢献できる地域開放施設を整備する。
- ・ 体育館やその他学校内の地域開放施設については、誰もが利用しやすいように多目的に活用できる機能を検討する。

② 学校施設・地域開放施設としての安全性・利便性に配慮した建物配置

- ・ バリアフリーに配慮した誰もが使いやすい施設にするとともに、利便性を高めた配置にする。
- ・ 安全管理・セキュリティ面に配慮し、多様な管理体制に対応できるように整備する。

③ 周辺地域への影響や調和

- ・ 日かげや土埃など、地域に対する負荷を軽減する。
- ・ 敷地周辺部は、樹木・歩道状空地を活用し、周辺地域と調和の取れた施設を整備する。
- ・ 歩道状空地、まちかど広場などを設け、敷地の一部を地域の方が利用できるようにする。

4. 地域の防災拠点としての学校

① 災害用設備の充実

- ・ 防災備蓄倉庫、防災資機材倉庫、非常用発電設備、かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸の設置、プールの水利用など、災害時に活用できる設備を整備する。
- ・ 大正大学と物資面でも協力し合えるよう、防災備蓄倉庫等を大正大学と連携しやすい位置に配置するなど工夫する。

② 避難通路の確保

- ・ 校門等の出入口は、災害時に避難者や緊急車両が出入りしやすいよう幅を広くするなど工夫をし、災害時に周辺住民等の避難経路を確保する。
- ・ 災害時に巣鴨北中と大正大学が行き来しやすいよう、門や校舎の配置を工夫する。

③ 避難生活に対応できる機能の確保

- ・ 多様な利用者に配慮し、避難生活の居住性を維持できるよう、体育館の機能やトイレの配置など、福祉やバリアフリーの視点に立った整備をする。

整備方針（施設・機能の考え方）

基本方針のほか、以下の施設や機能についても考えました！

- ・ 学校全体
- ・ 教室など
- ・ 体育館・武道場
- ・ プール
- ・ 共用部分
- ・ 地域開放施設
- ・ 校庭など
- ・ れんが通り
- ・ 防災・災害時
- ・ 環境への配慮・環境学習